

道総研ランチタイムセミナー
「おひるの科学」

進化する北海道の清酒・ワイン
—道産酒の新時代を知ろう!—

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
産業技術研究本部 食品加工研究センター
食品バイオ部
富永 一哉

本日のお話のアウトライン

- 清酒醸造所の地図と北海道の酒造の小史
- 道産清酒の消費量の推移
- 特定名称酒のシェア
- 道産酒造好適米
- 道総研の道産清酒に対する研究及び支援
- 「酒チェーン」の活動について



- 北海道のワイナリーの地図とワイン醸造の小史
- 増加する道内ワイナリー
- 醸造専用ブドウ
- 道産ワインの優位性
- 道総研のワインに対する研究及び支援
- ワイナリーツアーと酒蔵巡り（観光との連動）



北海道の酒造の簡単な歴史

1800年代

- **1872年：札幌市に柴田酒造店創業**
 - ※1897年：企業合同で札幌酒造合名会社を設立、
 - ※1928年：社名を日本清酒株式会社に変更、さらに計8社の企業合同（統一銘柄を千歳鶴）
- **1878年：札幌市に小林酒造創業、1891年：栗山町に移転**
- **1882年：増毛町に國稀酒造（丸一本間）創業**
- **1886年：札幌市に山崎酒造創業、旭川市に移転し男山の名籍を継ぐ**
- **1887年：根室市に「北の勝」の碓氷勝三郎商店創業**
- **1899年：旭川市に小檜山酒造店（高砂酒造）創業**
- **1899年：小樽市に田中酒造創業、1988年に新創業**

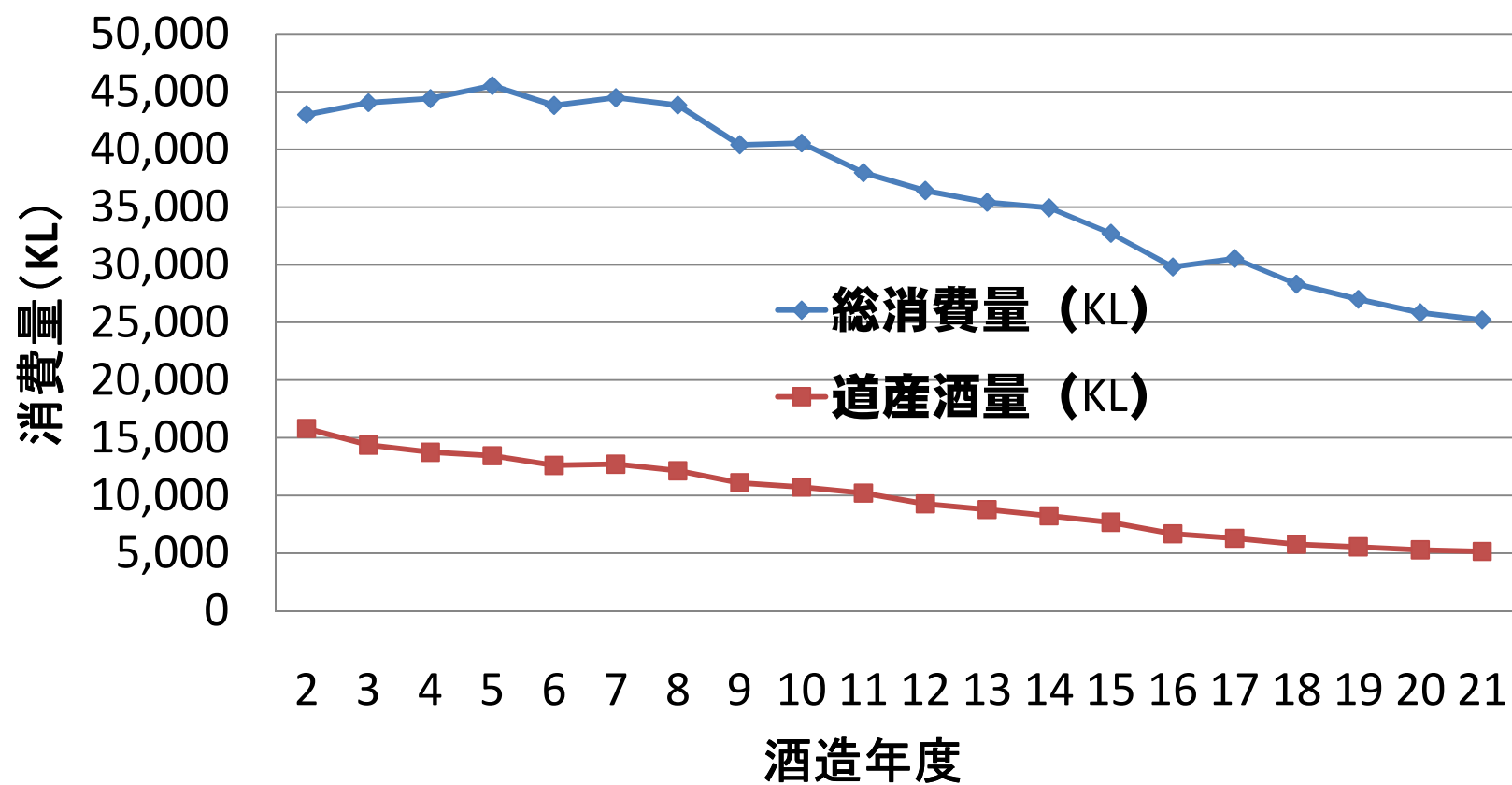
北海道の酒造の簡単な歴史

1900~2000年代

- 1901年：小樽市に 北の誉酒造創業
- 1902年：旭川市に神谷酒造が酒精工場「旭川工場」を建設、
1924年：焼酎製造会社4社が合併し合同酒精を設立、
1998年：大雪乃蔵を設立
- 1906年：新十津川町に金滴酒造（新十津川酒造）創業
- 1916年：ニセコ町に二世古酒造創業
- 1919年：釧路市に敷島商会（福司酒造）創業
- 1998年：北農試が北海道品種初の酒造用奨励品種「初粟」を開発
- 2000年：道中央農試が酒造好適米「吟風」を開発
- 2004年：道中央農試が酒造好適米「彗星」を開発

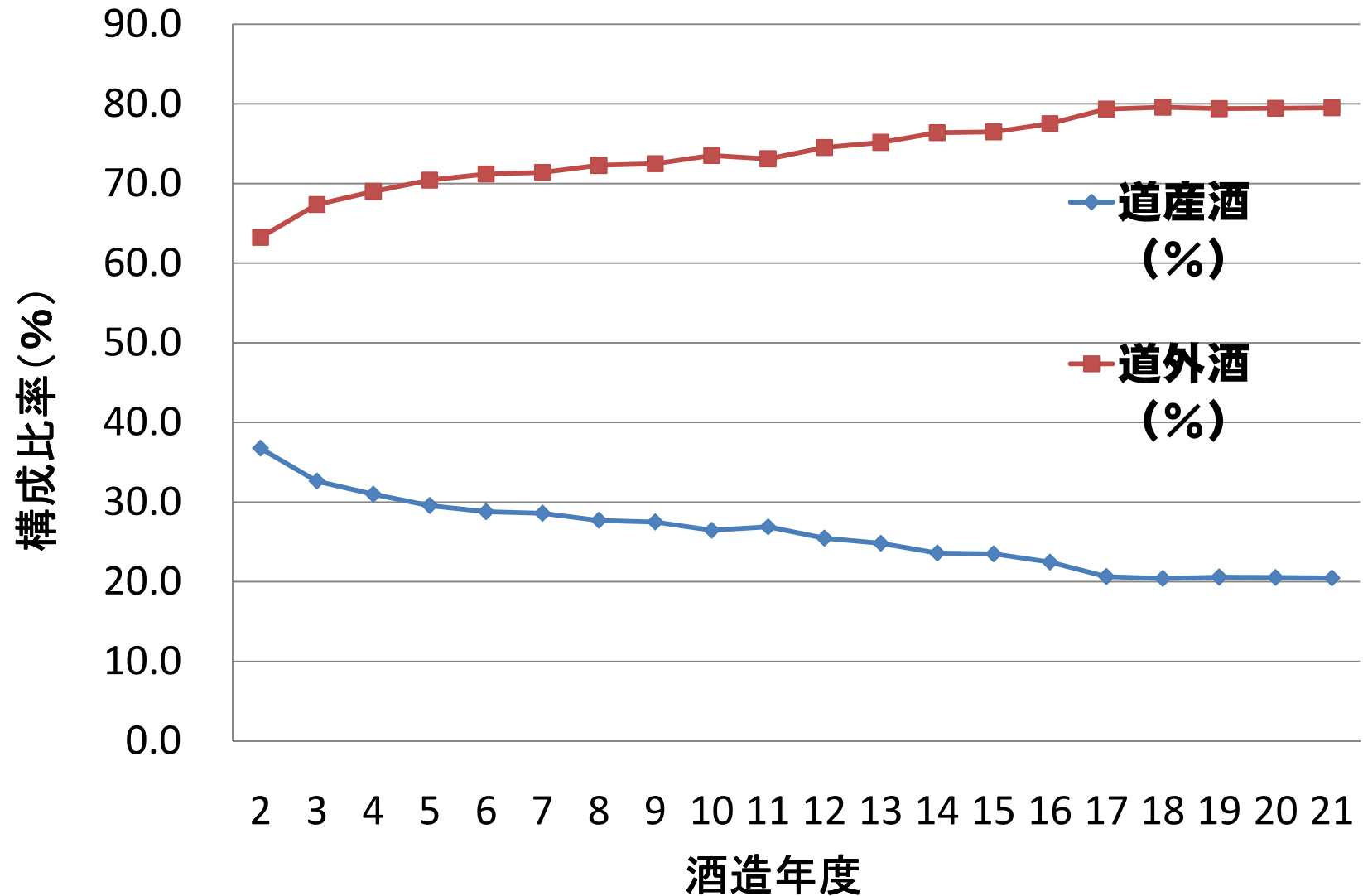
道産清酒の道内におけるシェア I

道内清酒消費数量に占める道内清酒



道産清酒の道内におけるシェアⅡ

道内清酒と道外清酒の比率



道産酒造好適米

■ 初雫 (交配組合せ：マツマエ／上育116号//北海258号)

1998年に品種登録された北海道産、初の酒造好適米。玄米に酒造好適米特有の心白(しんぱく)は発現しないものの、比較的大粒で酒造適性が高い。系統番号である「278」を酒の名前にしている酒造メーカーもありました。

■ 吟風 (交配組合せ：八反錦2号／上育404号//きらら397)

2000年に誕生した北海道の本格的酒造好適米で、心白(米の中心にある白濁部分で酒造好適米の特徴)の発現率が高く、醸造段階での溶解性がよい特徴を持った品種です。清酒の味わいとしては、まろやかな芳醇タイプです。

■ 彗星 (交配組合せ：初雫／吟風)

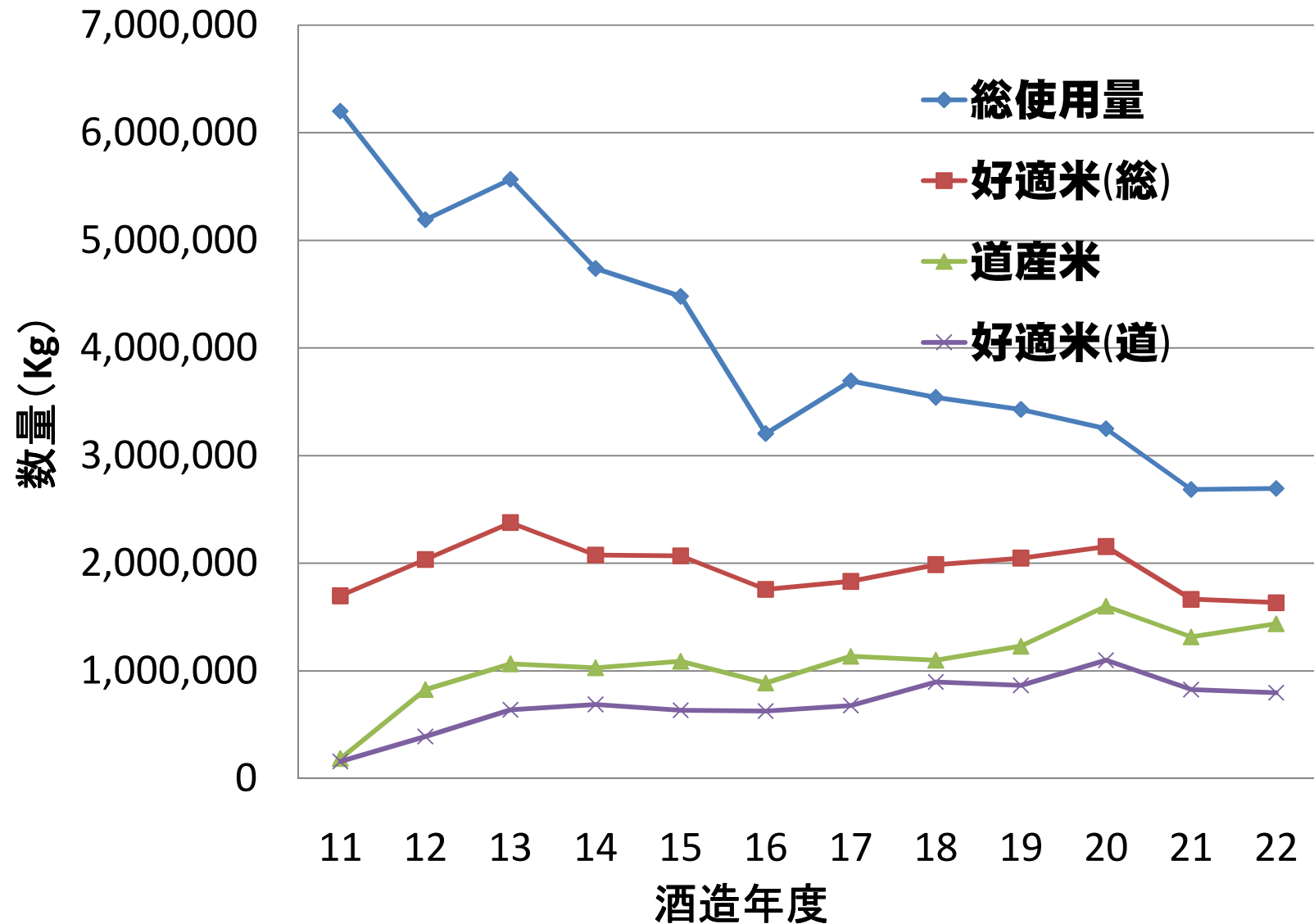
2007年に生まれた大粒の酒造好適米で、清酒造りに嫌うタンパク含有率が低いうえ、耐冷性が高く安定生産が見込める特徴を持った品種です。清酒の味わいとしては、切れ味スッキリの淡麗辛口タイプです。

■ 空育177号

収量性に優れ、タンパク質含有率が低く、耐冷性がある。

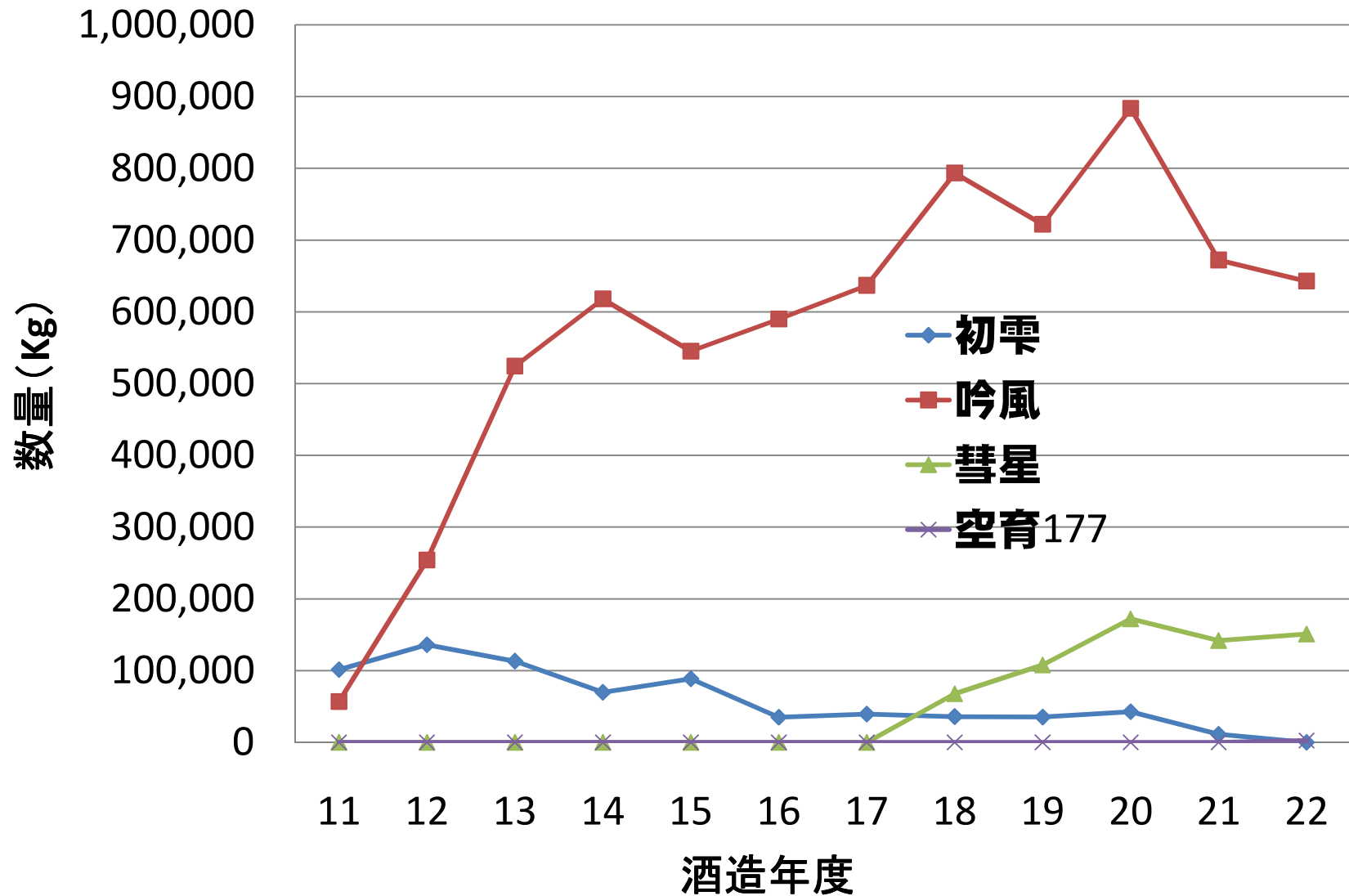
道産清酒に使われているお米

清酒製成数量及び道産米使用割合の推移



北海道の酒造好適米

道産酒造好適米内訳



全国清酒鑑評会入賞酒

項目		H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
出品酒	第Ⅰ部	84	71	98	98	118	129	139	145
	第Ⅱ部	981	978	921	899	863	828	781	750
	合計	1,065	1,049	1,019	997	981	957	920	895
入賞酒	総数	524	529	532	508	484	487	456	476
	金賞酒	285	278	257	253	252	255	249	242
札幌局	入賞酒	3	6	6	5	5	4	5	6
	内金賞酒	1	4	2	2	2	3	4	4
	内第Ⅰ部	0	2	1	1	1	2	3	1

清酒に関する食品加工研究センターの研究等

○酒類の製造技術に関する試験研究(H4~5)

○酒類製造の省力化に関する研究(H6~8)

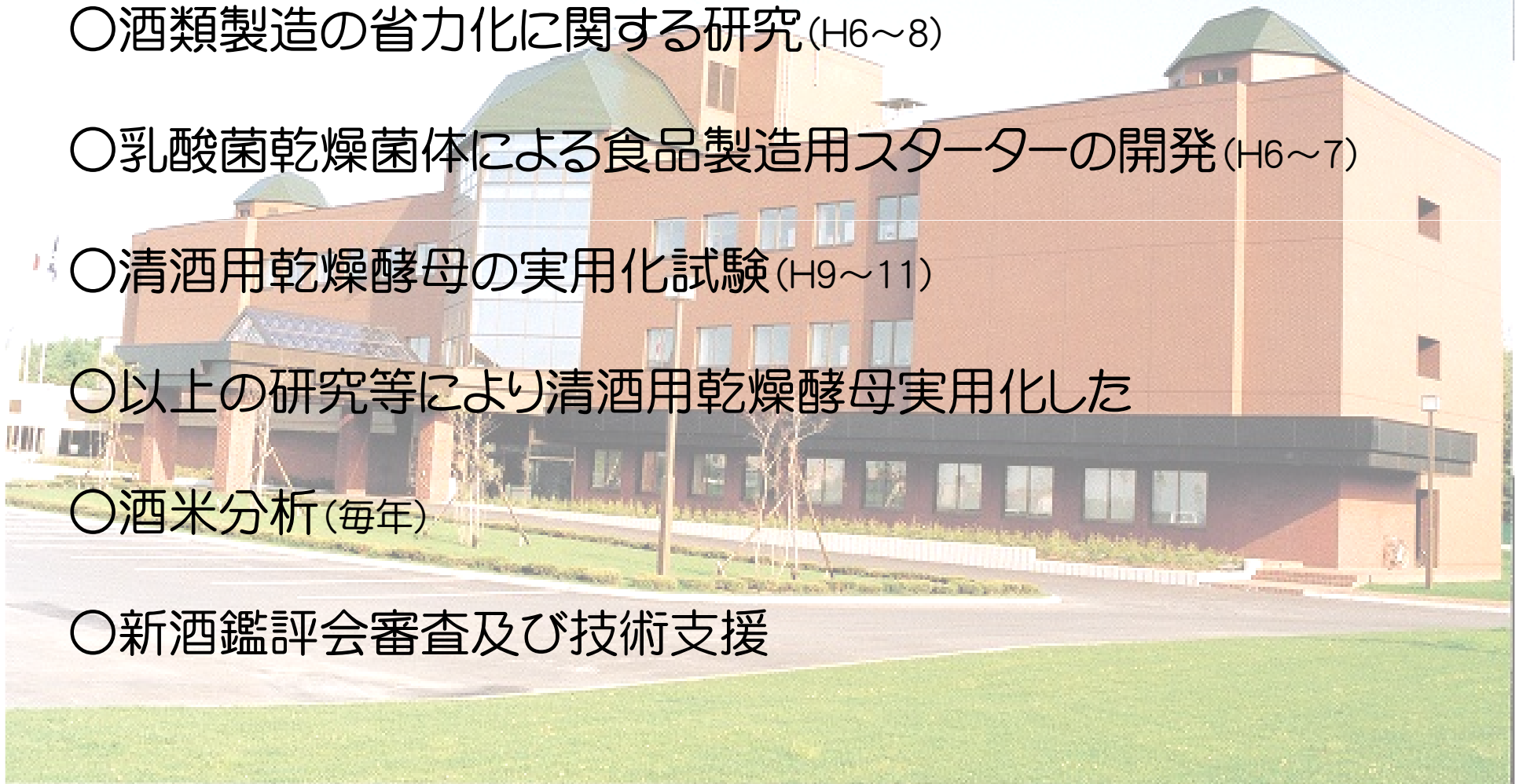
○乳酸菌乾燥菌体による食品製造用スターターの開発(H6~7)

○清酒用乾燥酵母の実用化試験(H9~11)

○以上の研究等により清酒用乾燥酵母実用化した

○酒米分析(毎年)

○新酒鑑評会審査及び技術支援



北海道のお酒にチェンジ！ キャンペーン

北海道新聞

酒
チェン

CHANGE!

O.tone

道産酒のうまさを、「オトン」がナビゲート。

北海道のお酒にチェンジ！キャンペーン

期間中、キャンペーン参加飲食店で北海道のお酒をご注文いただくと、抽選で選べるプレゼントが当たる！

<p>飲んで当たる、選べるプレゼント！</p> <p>1杯で1チャンス!</p>	<p>A賞</p> <p>道内の酒蔵から厳選！ 北海道の地酒 O.tone® 3本セット ※お取り寄せ 60名様</p>	<p>B賞</p> <p>北海道の地産地 消費財 北海道産 「ゆめぴりか」 2kg 100名様</p>	<p>C賞</p> <p>特産品の酒蔵 北海道産 「きたゆきもち」 1kg 200名様</p>
---	--	---	---

参加店は
こちらで！

平成22年12月1日(水)～平成23年3月31日(木)

◎お酒は20歳になってから、おいしく適量を。◎妊娠中、授乳期、また自動車・機械等の運転前・運転中の飲酒はおやめください。
主催／北海道外販売拡大委員会 後援／北海道 北海道商工会議所連合会 北海道農林業同組合中央会 オゾン農林協同組合連合会

農業団体でつくる北海道米販売拡大委員会や北海道商工会議所連合会などが、12月1日から札幌駅周辺やススキノなどの札幌市内の飲食店で道産清酒を注文したお客さんに、道産地酒3本セットなどを贈るキャンペーンをはじめております。

期間は3月31日までです



北海道のワイナリー小史

1800～1900年代

- 1865年頃七飯町周辺で北海道最初のワイン試験製造
- 1938年 ニッカワイン（生産中止）
- 1963年 池田町ブドウ・ブドウ酒研究所
- 1972年 富良野市ぶどう果樹研究所
- 1973年 株式会社はこだてわいん
- 1974年 北海道ワイン株式会社（鶴沼ワイナリー）
- 1974年 日本清酒 余市葡萄酒醸造所
- 1976年 富岡ワイナリー（現在、札幌酒精工業株式会社）
- 1988年 中央葡萄酒 グレイスワイン千歳ワイナリー

北海道のワイナリー小史

2000年代

- 2000年 ばんけい峠のワイナリー
 - 2000年 (有)洞爺湖農産 月浦ワイン醸造所
 - 2002年 山崎ワイナリー
 - 2003年 歌志内太陽ファーム (ヴィンヤード)
 - 2006年 株式会社 宝水ワイナリー
 - 2006年 マオイワイナリー
 - 2008年 株式会社 奥尻ワイナリー
 - 2009年 札幌藤野ワイナリー
 - 2010年 ドメーヌ・ソガ
- その他：島牧ワイン、ニセコワイン、松原農園、滝沢ヴィンヤード
中澤ヴィンヤード、ガットラフヴィンヤード 他

果実酒（ワイン）製造場数の推移

	H15	H16	H17	H18	H19	H20
北海道	20	19	19	23	23	23
山形県	15	15	15	15	15	15
長野県	30	32	32	33	33	32
山梨県	89	89	88	89	91	90
全国	416	411	413	426	429	422

- 平成18年を期に、北海道の製造場は増加
- 山形、長野、山梨はここ数年あまり変化していない
- 全国的にも平成18年を期に増加しているが、去年は大きく減少

道内で生産されているワイン専用のブドウ

■白ワイン用

●セイベル9110	●セイベル5279	●ザラジンジェ
●ミュラー・トルガウ	●ケルナー	●バッカス
●ピノ・ブラン(ヴァイスブルグンダー)		●シャルドネ
●ソーヴィニオン・ブラン	●シルヴァーナ	●ピノ・グリ
●ゲヴェルツトラミーナ(トラミーナ)		

■赤ワイン用

●セイベル13053	●メルロー	●ツバイゲルト・レーベ
●トロリンガー	●レンベルガー	●ドルンフェルダー
●ピノ・ノワール	●山ソービニオン	●ロートベルガー
●アムレンシス		

Japan Wine Competition 欧州系品種白の結果

第1回 (2003年) :

- 金賞 グランポレール北海道余市貴腐1994 サッポロワイン(株)勝沼ワイナリー
- 銅賞 1999光芒ケルナー 北海道ワイン(株)
- 銅賞 1999完熟遅摘ミュラートウルガウ 北海道ワイン(株)
- 銅賞 2002ハレの日ワインミュラートウルガウ 北海道ワイン(株)
- 銅賞 2001ケルナー 北海道ワイン(株)
- 銅賞 プチグランポレール北海道ケルナー遅摘み2002
サッポロワイン(株株) 勝沼ワイナリー
- 特別賞 入選 ふらのワインミュラー 富良野市ぶどう果樹研究所

第8回 (2010年) :

- 銀賞 グランポレール北海道ケルナー辛口2009 サッポロワイン(株)勝沼ワイナリー
- 銀賞 2008 北海道 ケルナー2008 北海道ワイン株式会
- 銅賞 グランポレール 北海道ケルナー遅摘み2008 サッポロワイン(株)勝沼ワイナリー
- 銅賞 2008鶴沼トラミーナ 北海道ワイン(株)
- 銅賞 シャトーふらの白2009 富良野市ぶどう果樹研究所
- 銅賞 2008雪摘みケルナー 北海道ワイン(株)
- 銅賞 2009おたるミュラー・トゥルガウ完熟フリーラン 北海道ワイン(株)
- 銅賞 2008鶴沼バッカス 北海道ワイン(株)

山崎ワイナリーがパーカーポイント87点獲得

- 2008年9月、国際的なワイン販売と価格決定に影響力を持つ米国のワイン評論家ロバート・パーカーのウェブサイト「eRobertParker.com」に、ヤマザキワイナリー ケルナー 2007が紹介された。
- ワインをチェックしたのは、パーカーのサイトのアジア地区担当レビュワーであるリサ・ペロッティ・ブラウン氏。

「ヤマザキワイナリー ケルナー 2007」 (87点)

- 「プティ・グラン・ポレール 北海道ケルナー 遅摘み 2006」 (85点)
- 「プティ・グラン・ポレール 長野シャルドネ 2007」 (82点)
- 「プティ・グラン・ポレール 北海道ケルナー 辛口 2006」 (80点)
- 「登美の丘ワイナリー 登美 1997」 (86点)
- 「グラン・ポレール 長野古里ぶどう園 カベルネ・ソーヴィニヨン 2004」 (81点)
- 「アルガ・ブランカ ブリリャンテ 2004」 (88点)
- 「アルガ・ブランカ イセハラ 2007」 (86点)
- 「ルバイヤート・ワイナリー 甲州シュール・リー 2006」 (85点)
- 「メルシャン勝沼ワイナリー 甲州きいろ香 2007」 (84点)

ワインに関する食品加工研究センターの研究

- 道産果実によるワイン、蒸留酒、リキュールに関する研究(H4~5)
- 果実酒の新しい減酸処理技術に関する研究(H6~8)
- マロラクティック発酵における添加乳酸菌の動態解析(H7~9)
- 赤ワインに含有されるリスベラトロール類縁物質を増やす研究(H10~12)
- 発酵食品の香り及び機能性の強化に関する研究(H11~13)
- 赤ワインのマロラクティック発酵微生物の解析(H10~12)
- 寒冷地に最適な新規乳酸菌による優良道産ワインの安定醸造(H13~15)
- 道産ワイン由来の新規乳酸菌を用いた赤ワインの醸造試験(H16~17)
- 北海道に適した新規乳酸菌によるマロラクティック発酵管理技術の確立(H18~19)
- 以上の研究で、マロラクティック発酵乳酸菌の分離・特許化

北海道ワインツーリズム推進協議会

- (1) 北海道におけるワインツーリズムの普及と定着を図ることを通じて、歴史の浅い北海道の各ワイナリーが各々の特性や特色を磨きながら、世界に通用するワイナリーへと発展することを目指すとともに、
- (2) ワイン周辺商品の開発を促進し、ワイン周辺商品を含めた関連商品の販売力の強化を図り、さらには、
- (3) 北海道への短期移住の促進、
- (4) 農業従事者の確保などの副次的効果の創出にも寄与すべく、
ワインツーリズムを通じた北海道の活性化に資することを目的として、“志”を同じくした生産・消費・流通・観光・情報発信などのメンバーによって設立されました。

「北海道ワインツーリズム」推進協議会事務局

〒060-0003

北海道札幌市中央区北3条西3丁目1-5 シグマ北3条ビル9F

北海道マーケティング総研（株）内

電話 (011) 219-7721

北海道ワインツーリズム推進協議会の活動

平成21年

- 4月「北海道産ワインを知る会at Tokyo」(2日間、参加者約300人)
- 6月「ワインツーリズム・モニターツアー」(日帰、参加者55人)
- 7月「北海道フェア(駒沢Lonowa)でのPR活動」
- 9月「北海道ワインマップ」の発売
- 9~10月「2009秋の北海道ワインツーリズム」
「空知」を中心、5回実施(参加者154人)

平成22年

- 5月「開発局地域振興対策室長会議」
- 5月「広島でPR活動」(マツダスタジアム)
- 6月「2010北海道ワインツーリズム」初夏のワイナリーツアー
「胆振」にも進出、4回実施(参加者102人)
- 10月「ワイントレイン」の運行(日帰)
- 9~10月「2010秋の北海道ワインツーリズム」
「胆振」にも展開、4回実施(参加者92人)

この他に、JTB北海道、インターリンクジャパン、北海道宝島旅行社などもワインツーリズム事業を展開している。

今後、清酒の蔵元も含んだツアーも企画されており、より幅の広い事業の展開が期待される。

最後に・・・

お酒は農業と工業、そして食卓を結ぶ戦略商品である

ご静聴ありがとうございました。

北海道の酒造メーカー

■道北

高砂酒造株式会社(旭川)

男山株式会社(旭川)

株式会社大雪乃蔵(旭川)

国稀酒造株式会社(増毛)

■道央

日本清酒株式会社(札幌)

北の誉酒造株式会社(小樽)

株式会社山二わたなべ(小樽)

田中酒造株式会社(小樽)

有限会社二世古(二セコ)

小林酒造株式会社(栗山)

金涌酒造株式会社(新十津川)

■道東

福司酒造株式会社(釧路)

碓氷勝三郎商店(根室)

1921年の北海道の2千石以上の酒造業者

所在地	製造業者	造石高	代表銘柄	代表者
札幌	札幌酒造合名会社	6,350	富久天狗	本郷嘉之助
函館	菅谷合名会社	4,579	五稜正宗	兵藤栄作
小樽	野口吉次郎商店	4,251	北の誉	野口喜一郎
旭川	笠原合名会社	4,236	常盤泉	笠原定蔵
〃	野口合資会社	3,616	北の誉	
栗山	小林米三郎商店	3,547	北の錦	岡田重次郎
旭川	大谷岩太郎	3,483	旭正宗	
小樽	岡田合名会社	3,462	巴里	岡田市松
〃	本間賢次郎商店	2,601	正泉	
札幌	片岡合名会社	2,549	千歳鶴	
〃	西尾長次郎商店	2,406	北の誉	片岡唯一郎
旭川	小桧山鉄三郎	2,403	旭高砂	
室蘭	小林秀弥商店	2,179	香蘭	

1921年(大正10年)に北海道内には148酒造家

道産清酒復調の兆し

(1) 北海道の清酒消費数量に占める道産酒のウェイト

年	北海道の消費数量 (kℓ)	内、道産酒の数量 (kℓ)	道産酒のウェイト (%)
平成 19	27,205	5,615	20.6
20	25,875	5,423	21.0
21	24,323	5,109	21.0

- (注) 1. 北海道の消費数量は、北海道の卸販売数量を引用した
 2. 道産酒の数量は、蔵出し純課税移出数量（戻し入れを控除）を引用した。

(2) 道産酒の種類別課税移出数量全国比較（平成21年） (kℓ、%)

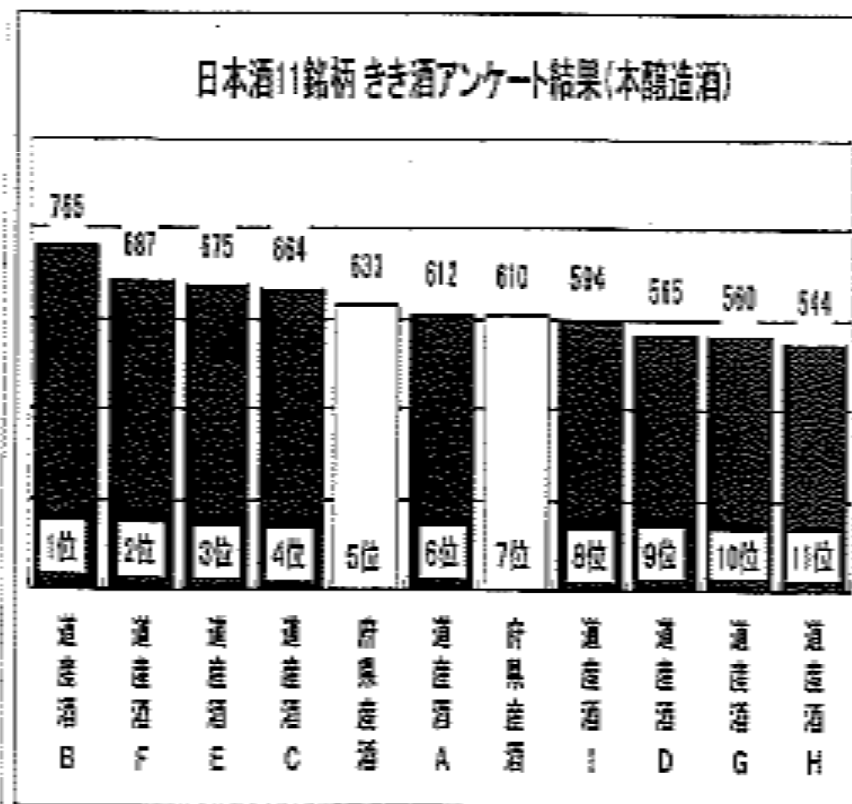
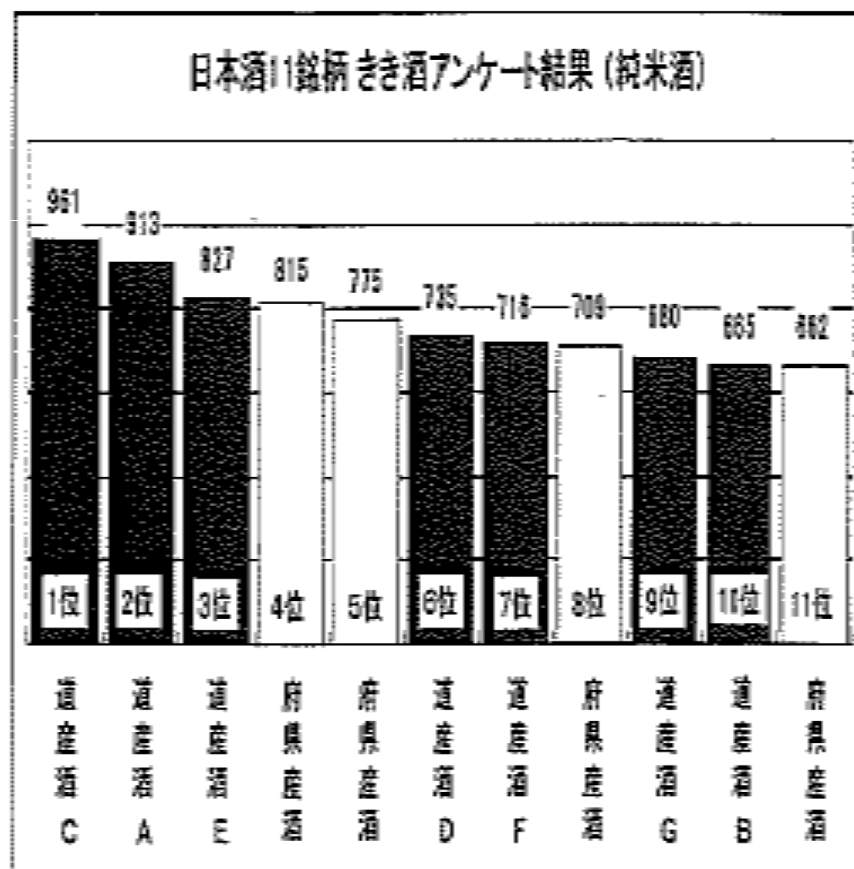
区分	特 定 名 称 酒					特定名称酒 比率	一般酒	合計
	吟醸酒	内、純米吟醸酒	純米酒	本醸造酒	計			
全 国	41,747	23,499	56,043	67,679	165,469	26.4	461,599	627,068
北海道	435	240	1,327	801	2,563	42.5	3,470	6,033

- (注) 北海道の清酒消費量に占める道産酒のウェイトが著しく低いのは、北海道のメーカーは、どちらかというとな高級酒である特定名称酒に特化していることも大きな要因となっている。

道産清酒は美味しい！

道産酒、道外酒の有名銘柄試飲サンプル11銘柄を目隠して、美味しいと感じる順番を141名の方に投票してもらったところ、次のグラフのとおり道産酒が高得点で上位を占めた。

黒い棒が道産酒！



北海道のワイナリー

山崎ワイナリー

日本清酒 余市葡萄酒醸造所



都道府県別ぶどう収穫量ランキング

ぶどう(ブドウ／葡萄) 収穫量及び出荷量 (平成21年産)

ランキング		収穫量 t	出荷量 t	前年産対比	
				収穫量 %	出荷量 %
	全 国	202200	184800	101	101
1	山 梨	50600	46900	105	105
2	長 野	27100	25200	93	93
3	山 形	20100	18200	103	102
4	岡 山	15400	13700	98	98
5	福 岡	10100	9280	99	99
6	北海道	7770	7340	101	102
7	大 阪	5930	5620	96	96
8	青 森	4980	4110	118	119
9	愛 知	4980	4670	99	99
10	広 島	3970	3560	98	98